

## 若狭歴史民俗資料館(1/2)

# 若狭歴史民俗資料館は若狭の魅力の玉手箱！！

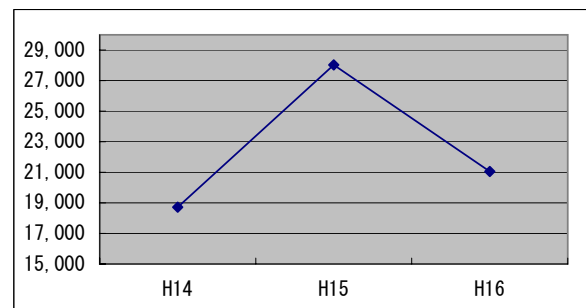
所在地	小浜市遠敷2-104		
設置年月日	昭和57年10月1日		
施設の種類	博物館	施設管理主体	県
設置の目的	若狭地方の考古・歴史・民俗などの調査研究・収集・保管および展示等を行い、この地方の豊かな文化遺産の保護および県民の文化の向上に寄与することを目的とする。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート2階建 延床面積3,218.75㎡		
職員数	正職員6人、非常勤嘱託2人、アルバイト2人 計10人		

### 利用状況等

	H14	H15	H16
観覧者数(人)	18,717	28,027	21,054
講座等参加者(人)	832	649	695

### 利用者負担(利用料金)等

入館料	常設展	大人100円
	企画展	別に定める



利用状況の推移	<p>平成15年度は特別展「若狭路千年」が大変好評をいただき、若狭路博の影響もあって7,825人の来館がありました。</p> <p>16年度は特別展「王の舞を見に行こう！」に3,051人の来館がありました。最終入館者は約25%減の21,054人の来館となりました。若狭路博などの効果を別に考える場合、16年度は14年度の来館者を上回っています。</p>
---------	--

### 16年度の特徴について

設置目的達成のために実施している経常的な業務および主催事業等	<p>特別展「王の舞を見に行こう！ー郷土の祭りと芸能文化の理解のために」(10月2日～11月7日)、</p> <p>のほか、テーマ展「福井城下ー掘り出された江戸時代の生活」、「若狭の刀剣ー小浜の刀鍛冶冬廣一」、「ふるさと若狭路のまつり行事写真展」、「お水送りー若狭の水・ご香水一」、移動展「新収蔵品と三上誠」、「越前朝倉氏・一乗谷」、「北荘・北美の世界」などを開催しました。</p> <p>特別展は15年度の特別展「若狭路千年」より観覧者数は少なくなりましたが、若狭の独特な地域性を見直すものとして高い評価を受けました。</p> <p>普及事業として、特別展記念講演会1回、郷土史講座等12回を開催しました。</p>
事業実績	<p>施設の利用実績</p> <p>エントランスホール・講堂は館の主催事業のほか、外部への貸出しもしています。「仮面コンクール」作品展は特別展関連・館主催、「夢の新線図画作品コンクール」は外部の企画です。</p>
研究成果、資料収集成果等	<p>調査研究事業として、若狭武田氏被官の文書のデータベース化、鳥浜貝塚出土資料の実測を実施しました。これらの成果は、特別展に活かされ、保存のための基礎データとして活用されます。</p> <p>当館は優れた収蔵設備・取扱技術を持ち、地域の社寺の資料の受託・保存をしています。文化遺産の保護だけでなく、画像などを公開する場としても、観覧者に喜ばれています。</p>
サービス改善、利用促進に対する取り組み等	<p>団体利用では職員がガイドをしています。若狭と近隣へ手厚い催しの案内をしています。</p>

### 仮面コンクール作品展と子どもたちへの取組

大人は歴史について一定の知識や関心があって、実物を見る感激がありますが、子どもには知識も縁もないものが大部分であり、身近に感じにくいかも知れません。

若狭歴史民俗資料館は、そんな子供たちでも資料館に親しみ、資料館や資料が自分と関りのあるものと思ってもらえるような試みをしています。

仮面コンクールは特別展「王の舞を見に行こう！」の関連行事として開催しました。王の舞は、若狭の代表的な民俗芸能で、赤い鼻高面を使用することから行ったものです。嶺南地域だけでなく、鯖江市・福井市からも参加があり、15校154点の応募がありました。子どもたちの作品は、王の舞と直接関るものではありませんが、造形としての仮面に親しみ、ひいては仮面の文化的理解へ続くものと考えます。また、参加した子どもたちの心に若狭歴史民俗資料館が必ず印象深く残るはずですよ。

16年度は子どもたちのために、実技的な内容の「夏休み子どもミュージアム」を2回行いました。また、セレモニーへの子どもたちの参加、子どもたちの関心・理解度に合わせた解説、学校利用のためのワークシートの準備など日常的にさまざまな活動をしています。

子どもたちのための展示ガイド「展示室を探検してみよう これは何かな？」はやや高度な内容です。しかし、掲載された写真の資料を展示室の中から探す、これなら低学年の子どもにもでき、とても楽しんでいます。若狭歴史民俗資料館は既存の資源の様々な利用法をさぐるとともに、新たなサービス提供を常に試みています。

# 若狭歴史民俗資料館(2/2)

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比
人にかかるコスト	人件費	65,686	55.6%
	退職給与引当金繰入	▲ 1,687	-1.4%
	計	63,999	54.2%
物にかかるコスト	物件費	28,788	24.4%
	維持補修費	1,088	0.9%
	減価償却費	22,511	19.1%
	計	52,387	44.4%
その他	公債費(利子)	52	0.0%
	その他	1,708	1.4%
	計	1,760	1.4%
合計		118,146	100.0%

バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	783,404	固定負債	47,160
投資等	0	流動負債	1,381
流動資産	0	正味資産	734,863
計	783,404	計	783,404

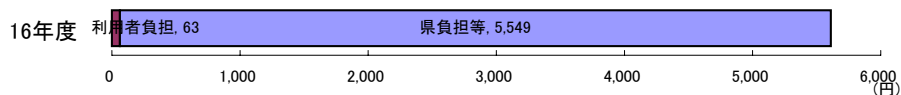
施設の特徴	若狭で最大で、広い内容を扱う歴史博物館です。重要文化財「鳥浜貝塚出土資料」を所蔵し、多くの若狭を代表する文化財をごらんいただけます。また地元の方、遠方の方のさまざまな専門的な質問にもお答えしています。資料館は文化財が集中的に集まる小浜市東部に位置し、「国宝めぐり」とあわせて観覧する方も多くなっています。
今後の課題	更なる利用者増を図るため、サービス内容や多くの方に存在をしていただくための活動に取り組んでいきます。

(単位 千円)

収入			
収入	利用料等収入	1,327	1.1%
	その他収入	2,076	1.8%
	一般財源	114,743	97.1%

利用料等収入計	1,327,000 円
利用者1人あたり平均利用料	63 円
利用者1人あたりコスト	5,612 円

利用者1人あたりのコスト負担の状況



バランスシート、行政コスト計算書の特徴	施設の設置が昭和57年度と古く、減価償却費の割合が低くなっています。有形固定資産のうち、建物が496,302千円と63%を占めています。利用者1人あたりの平均利用料は、常設展観覧料が無料の高齢者および高校生以下の人数が多いため、低額(63円)となっています。
---------------------	---

今後の事業方針	若狭歴史民俗資料館は嶺南地域を主とした、地域の歴史・文化を伝えることを任務にしています。したがって、諸事業も若狭を調べ、若狭を知っていただくことが中心になります。そうした中で、従来人気が高かった仏像などを重視しつつ、若狭をさまざまな側面から紹介する活動をおこない、さらに展示スペースを利用して、ヨーロッパ絵画の展覧会など、他地域の文化を紹介する事業にも取り組みます。またこうした事業について積極的な広報活動を行い、多くの方に利用していただけるよう努めます。
取組み内容	17年度の特別展は文書を主とする「若狭湾と中世の海の道」を開催しました。従来と趣の異なるものですが、若狭湾岸に伝わる中世を紹介し、高い評価を得ました。広報も嶺南地域のほか、京都府北部、滋賀県北部に対しても手厚く行い、多数の観覧者が得られました。インターネットの利用による広報も徐々に充実させています。